

Elazzio

SEAT COVER



HONDA

ZR-V

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

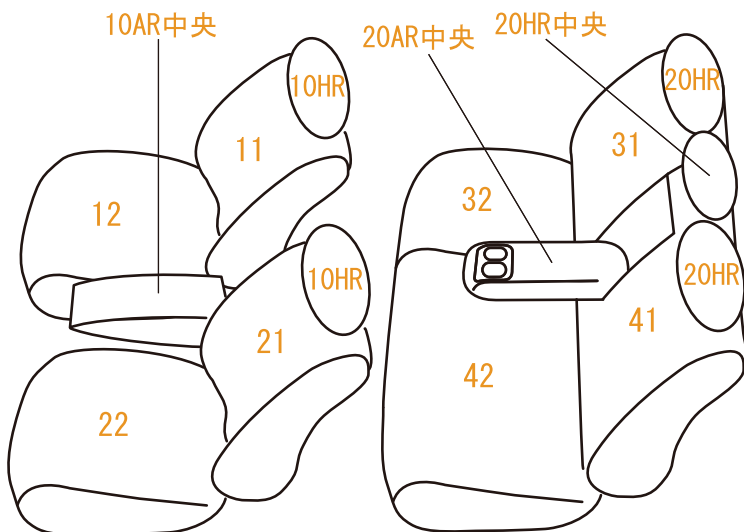
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1 列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 7P~10P
2 列目座面の装着方法	…> 10P~12P
2 列目背もたれ・アームレストの装着方法	…> 13P~16P
ヘッドレストの装着方法	…> 17P~18P
1 列目アームレストの装着方法	…> 19P~20P
完成図	…> 20P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 21P~22P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① クラッツィオ専用ヘラ（付属）
- ② プラスドライバー
- ③ 両面テープ（推奨） ※必要に応じてご用意下さい

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管してから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

1 列目座面の装着方法



- 1 カバーをシートのラインに合わせて、前側から後ろ側へかぶせます。図の赤線位置には、シートにカバーを引っ掛けるようにかぶせ、しっかりとシートラインが出るようにします。



- 2 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。



- 3 入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



- 4 外側面の生地（図の点線部）をシートのプラスチック部の隙間に、固定部材と一緒に入れ込みます。



- 5 内側面の生地に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付け、シート側面の隙間に落とし込みます。



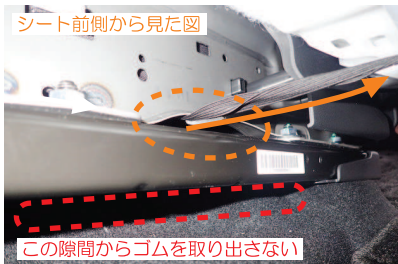
- 6 隙間に落とし込んだゴムを、シート底面から取り出します。この際、シートリフターを調節し、シート位置を上げておくと、隙間が広くなり作業がしやすくなります。

シート前側から見た図



- 7 取り出したゴムを、図のようにシート底面に金属フックを引っ掛け固定します。

シート前側から見た図



この隙間からゴムを取り出さない

- 8 助手席の内側面も同様の固定方法となりますが、運転席のようにシート位置を上げる事が出来ない為、隙間が狭くなります。
※シートレールの下側（図の赤線位置）からゴムを取り出さないよう、注意して下さい。



- 9 リクライニングレバー付近の生地にも、ゴムが付いていますので、付属の金属フックを取り付けます。



- 10 シートをめくるようにすると、隙間からシート下が見えるので、この隙間に生地ごとゴムを落とし込み、7番と同様にシート底面に金属フックを引っ掛け固定します。カバー内側面の生地も同様に固定します。



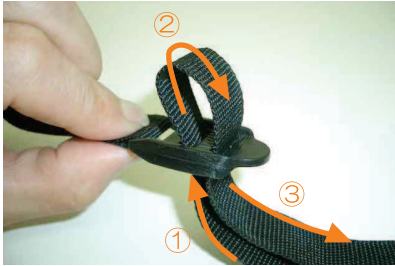
- 11 カバー前側に付いているベルトを、シートスライドバーの上側を通して、後ろ側から取り出します。



- 12 後ろ側から取り出したベルトは、3番で引き出した生地が付いているバックル（図の○位置）に通し、固定します。
※ベルトの固定方法は、13番を参照して下さい。

Step 2

1 列目背もたれの の装着方法



- 13 ベルトは、図の①～③の順にバックルに通し、通したベルトを引く事で前後に締まりカバーが固定されます。
ベルトを強く引き過ぎると、切れる恐れがありますのでご注意ください。



- 14 ベルトを固定すると、このようになります。



- 15 カバーのラインを整え、1 列目運転席座面の完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 1 始めにヘッドレストを取り外します。ヘッドレストを一番上まで引き上げると、図の○側の台座でロックが掛かり、この状態では取り外す事が出来ません。



シート前側から見た図

- 2 ロックが掛かっている側の台座下が見えるように、シート生地を押し広げると、金属パーツが見えます。
※金属パーツの形状は、4番を参照して下さい。

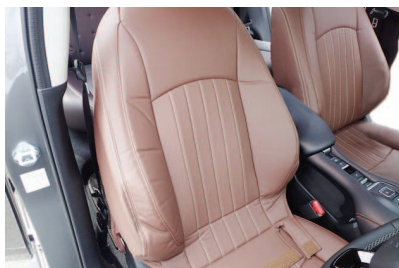


シート後ろ側から見た図

- 3 4番で金属パーツの形状を確認した上で、後ろ側から、金属パーツの左右を広げるようにしながら手前に引っ張り、抜き取ります。金属パーツを完全に抜き取った状態でヘッドレストを台座から取り外します。
※金属パーツは、ヘッドレストカバー装着後、元に戻しますので、紛失しないよう保管して下さい。



- 4 抜き取った金属パーツは、図のようなU字形状をしています。U字の上側が、台座の前側です。後ろ側から台座下とヘッドレストの軸を挟み込むようにして固定されています。



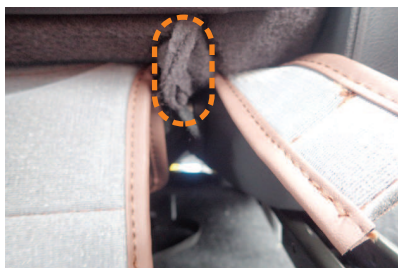
- 5 カバー背面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい角度で作業を行って下さい。左右の枝分かれしている生地は、それぞれシート形状に沿って、外側方向に生地を入れ込みます。



- 7 入れ込んだ生地を、後ろ側から引き出します。左右の枝分かれしている生地は、それぞれシート形状に沿って、外側方向に生地を引き出します。



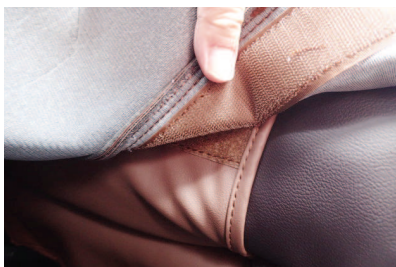
- 8 生地を引き出す際に、○部に配線等がある車は、生地の子分かれしている位置で配線をかかわすようにして下さい。



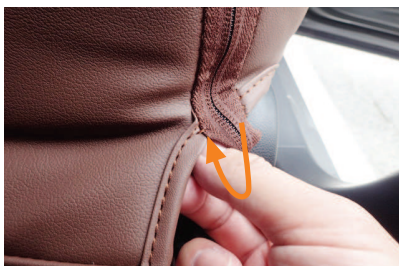
- 9 カバーの加工穴から、ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込み、生地伸びを利用して台座を取り出します。



- 10 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。



- 13 7番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープ同士で固定します。



- 11 ファスナーの先端部分は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 14 マジックテープを固定すると、このようになります。
左右の生地は、シート形状の沿わせた状態で、外方向に引っ張りながらマジックテープで固定するようにして下さい。



- 12 図の①～③の順番に側面の生地をシートに馴染ませるようにしながら、カバーのラインを整えます。この作業で前側の生地にたるみが出てきますので、7番の要領で、たるんだ生地を引き出します。シートに生地が馴染むまで繰り返して行って下さい。



- 15 カバー背面下の生地に付いているゴムに、付属の金属フックを取り付けます。

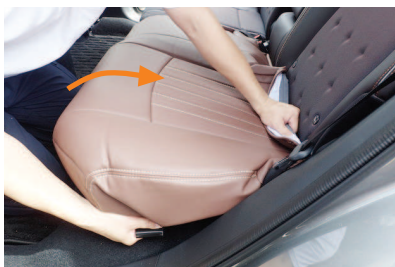
Step 3

2列目座面の装着方法



- 16 シート底面に金属フックを引っ掛け固定します。

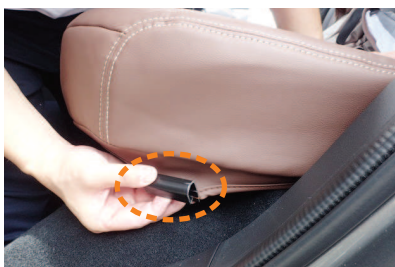
※助手席側座面で説明します。



- 1 カバーをシートのラインに合わせて、前側から後ろ側へかぶせます。



- 17 カバーのラインを整え、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 2 カバー底面には、図のようなフック状の固定部材が付いています。運転席側：2箇所／助手席側：3箇所



- 3 生地ごと固定部材を巻き込むようにしながら、シート裏に引っ掛け固定します。



- 4 固定部材は、シート裏の純正シート地を固定している固定具の上に引っ掛けるように固定します。



- 7 入れ込んだ生地先端に付いているマジックテープを、シートに直接貼り付け固定します。



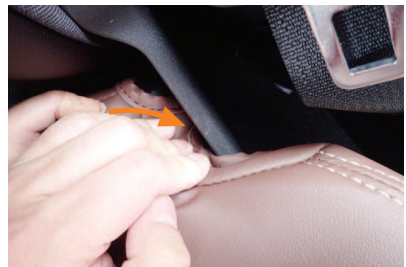
- 5 固定部材は、図の①～③の3箇所が付いています。運転席側は、①～②の2箇所となります。全ての固定部材を固定します。



- 8 図の赤線部のラインを整えます。



- 6 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。シートをを少し手前に傾けるようにすると、隙間が広がる為、作業がしやすくなります。



- 9 シート外側面のヒンジ部の隙間に、生地を入れ込みます。



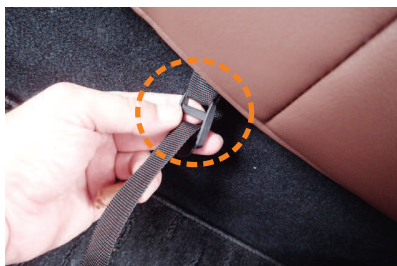
- 10 アームレスト下部の隙間にも、6番～9番と同様にカバーを固定し、ラインを整えます。



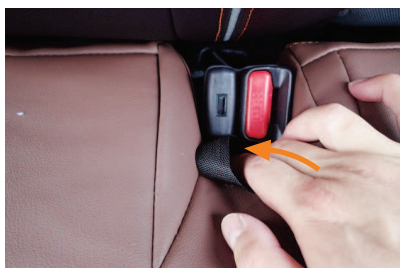
- 13 シート前側からベルトを取り出します。



- 11 <助手席側のみ>
図のシートベルトバックル位置のカバーに付いているベルトを取り出します。



- 14 取り出したベルトを、カバー前側に付いているバックルに通し、固定します。
※ベルトの固定方法は、7ページ13番を参照して下さい。



- 12 <助手席側のみ>
取り出したベルトを、シートベルトの下側に入れ込み、シート底面から前側に通します。シートを少し手前に傾けるようにすると、シートベルト下側に隙間が出来る為、作業がしやすくなります。

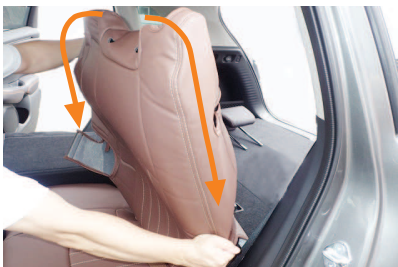


- 15 カバーのラインを整え、2列目助手席側座面の完成です。
運転席側も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。

Step 4

2列目背もたれ・アームレストの装着方法

※助手席側背もたれで説明します。



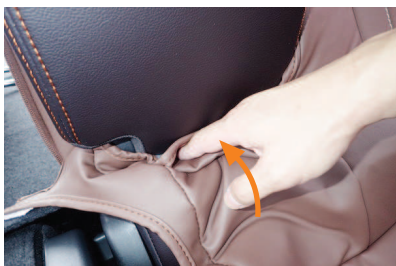
- 1 カバー背面に付いているファスナーを開いた状態で、シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



- 4 シート肩口のリクライニングレバーのフチは、隙間が狭い為、生地は入れ込まない仕様となります。



- 2 カバーの加工穴から、アームレストを取り出します。



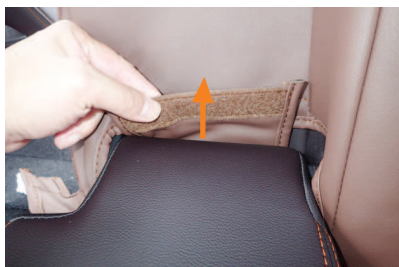
- 5 背もたれとアームレストの隙間に生地を入れ込みます。アームレストを前後に動かしながら作業をすると、生地が入れ込みやすくなります。



- 3 1列目と同様に、ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 6 アームレストのヒンジ部（図の赤線位置）の隙間に生地を入れ込みます。



7 5番で入れ込んだ生地を、アームレストの上側から引き出します。



10 ①シートを倒した状態で、背もたれ背面にあるプレートをめくり上げます。
②9番で入れ込んだ生地を引き出します。



8 引き出した生地を、アームレスト収納位置の生地についているマジックテープ同士で固定します。



11 カバー背面のファスナーを、生地同士を内へ寄せながら閉じます。ファスナーの先端部分は、シートの内側へ入れ込みます。



9 カバー下側の生地を、背もたれと座面の隙間に入れ込みます。



12 内側面下部の生地を、シートを覆うようにして、後ろ側へ通します。



- 13 ①背面のシート生地をめくり上げ、②12番で後ろ側へ通した生地を、マジックテープで直接シートに貼り付け固定します。



- 16 カバーのラインを整え、2列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状が異なりますが、同様に取り付けます。



- 14 内側面のアームレスト周りは、このようになります。



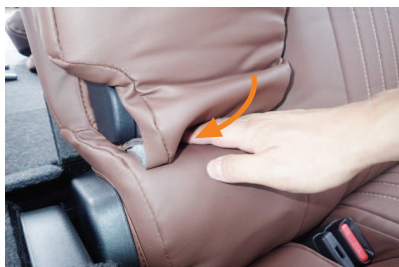
- 17 カバーの前後（フック状のプラスチックパーツが付いている方が画像の下側）を確認し、カバーを半分ほど裏返した状態で、アームレストにかぶせます。アームレストの先端までしっかり入れ込んで下さい。



- 15 10番で引き出した生地と背もたれ背面の生地を、マジックテープ同士で固定します。



- 18 ラインを合わせながらアームレスト全体にカバーをかぶせます。図の赤線位置にカバーをかぶせる際は、アームレスト本体の角を押しつぶす様にならず、慎重にかぶせて下さい。カバーの入口が狭い為、無理にかぶせようとするとカバーが破れる恐れがあります。

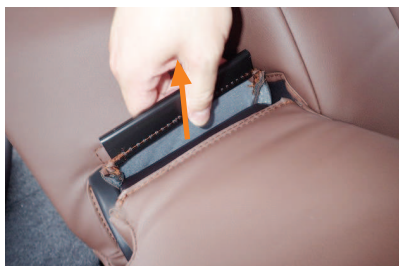


- 19 背もたれとアームレストの隙間に生地を入れ込みます。アームレストを前後に動かしながら作業をすると、生地が入れ込みやすくなります。

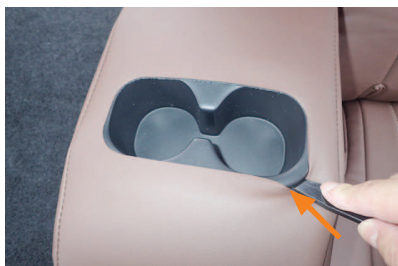


生地ごと巻き込む

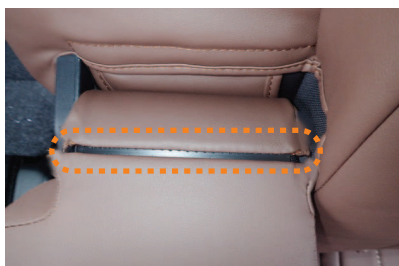
- 22 フック状のプラスチックパーツに、板状のプラスチックパーツを生地ごと巻き込むようにしながらはめ込み固定します。



- 20 入れ込んだ生地を、アームレストの上側から引き出します。



- 23 ヘラ等を使用し、カップホルダーのフチに生地を入れ込みます。



- 21 引き出した生地についているフック状のプラスチックパーツと、板状のプラスチックパーツを固定します。
※プラスチックパーツの固定方法は、22番を参照して下さい。



- 24 カバーのラインを整え、2列目アームレストの完成です。

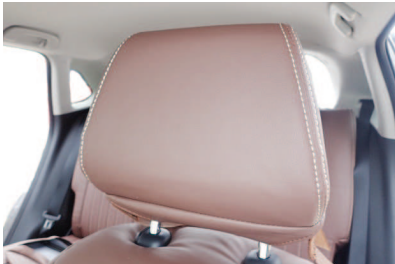
Step 5

ヘッドレストの装着方法

1 列目ヘッドレスト



- 1 カバーの前後を確認します。板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。カバーを裏返してヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。この際ヘッドレストの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 3 ヘッドレストをシートから外し、カバー裏で左右の生地に付いているマジックテープを固定します。



- 4 カバーの前後に付いているプラスチックパーツを固定します。
※プラスチックパーツの固定方法は、5番を参照して下さい。



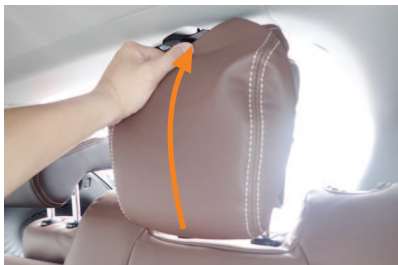
生地ごと巻き込む

- 5 フック状のプラスチックパーツに、板状のプラスチックパーツを生地ごと巻き込むようにしながらはめ込み固定します。



- 6 カバーのラインを整え、1 列目ヘッドレストの完成です。
※背もたれカバー装着時に抜き取った金属パーツ(8ページ4番)を戻し忘れないよう、ご注意ください。

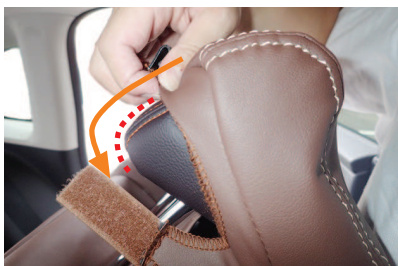
2列目ヘッドレスト



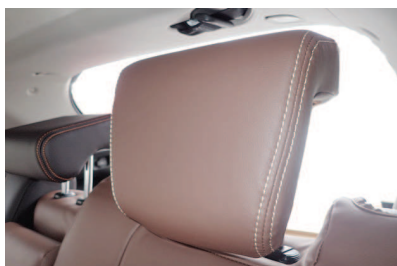
- 7 2列目ヘッドレストは前側から後ろ側へかぶせていきます。板状のプラスチックパーツが付いている方が前側です。



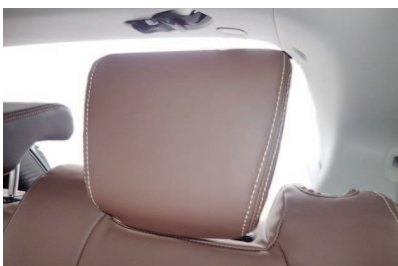
- 10 ヘッドレストをシートから外し、ヘッドレスト裏で、1列目と同様にマジックテープとプラスチックパーツでカバーを固定します。



- 8 図の赤線位置にカバーをかぶせる際は、ヘッドレスト本体の角を押しつぶす様にならず、慎重にかぶせて下さい。
無理にかぶせようとするともカバーが破れる恐れがあります。



- 11 カバーのラインを整え、2列目ヘッドレストの完成です。



- 9 ヘッドレストのラインからずれないようにカバーをヘッドレスト全体にかぶせます。



- 12 2列目中央席ヘッドレストも同様に取り付けます。

Step 6

1 列目アームレストの装着方法

※アームレストを取り外す必要があります



- 1 最初にコンソールボックスの蓋を開き、アームレストを取り外します。蓋を開いた状態で図の○位置にあるネジを外します。(4箇所)



- 2 プラスドライバーを使用し、ネジを外します。※ネジを全て外しても、アームレストは外れません。



- 3 次に、アームレストを蓋に固定しているツメの固定を外します。ヘラ等を使用し、図のように、アームレストと蓋部分の隙間を広げながら少しずつツメの固定を外していくと、アームレストが外れます。※ツメの位置は、4番を参照して下さい。



- 4 アームレストが外れた状態です。図の○位置にあるツメで、蓋に固定されています。ツメの固定がある程度外れると、急にアームレストが外れる場合があります。アームレストが外れた際に傷などが付かないようご注意ください。



- 5 カバーの前後を確認し、後ろ側から前側へカバーをかぶせます。カバー裏面に▲の切り欠きがある方が前側です。



- 6 アームレストを裏返し、4番で示したツメが見えるように、ツメの内側へ生地を入れ込みます。

完成図



- 7 カバーの前側は、蓋に戻す際に、外側にはみ出す恐れがあります。
この為、図の赤線位置に両面テープを使用し、カバーを仮止めする事を推奨します。



- > 1列目



- 8 アームレストを蓋に戻します。
アームレストと蓋のツメ位置を確認し、正しい位置で固定して下さい。
位置が合っていない状態で、無理に固定しようとする、ツメが破損する恐れがありますので、ご注意下さい。



- > 2列目



- 9 カバーのラインを整え、1列目アームレストの完成です。



- > 2列目

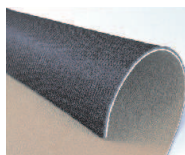


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。



- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。

パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816